

なみえまち しぶん しょうらい かんが
(浪江町と自分の将来について考えてみよう)

みらい なみえまち
未来の浪江町はどんなまち？



みらい しぶん なに
未来の自分は何をしている？

FUKUSHIMAKEN

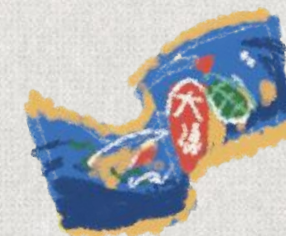
浪江町復興計画

第三次

後期基本計画



子ども版



NAMIEMACHI



はじめに、統計資料から浪江町の
ひとの様子を見てみましょう。

人口

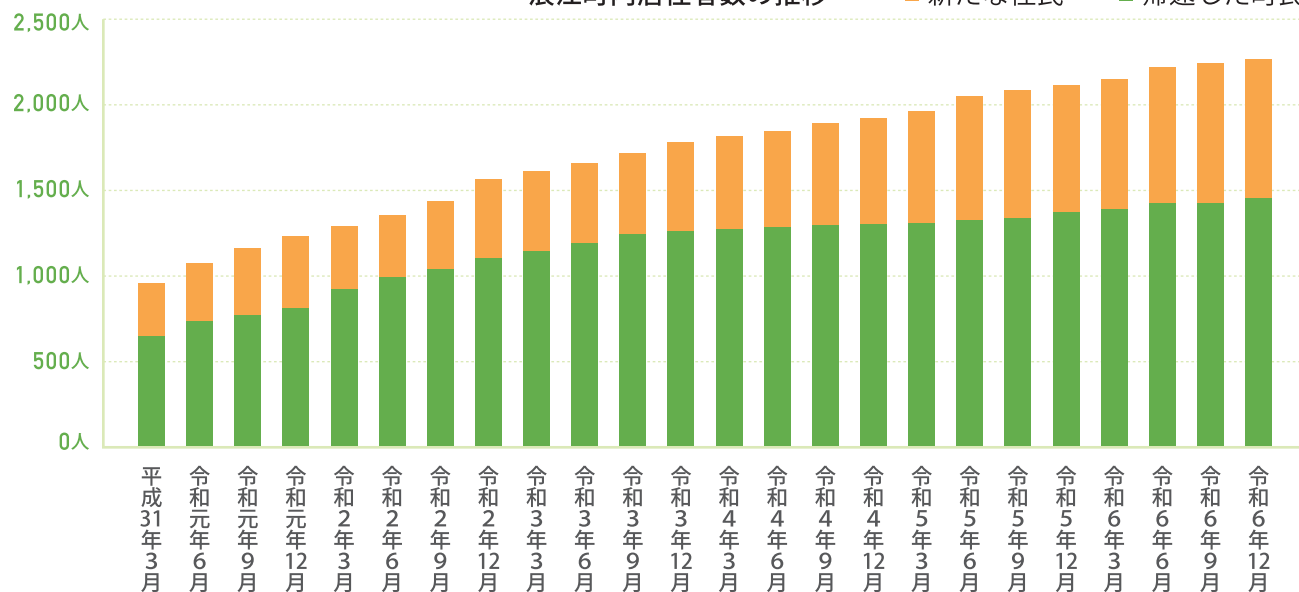
平成23年3月11日の人口は
21,542人でしたが、令和6年1月1
日の人口は15,096人と
(29.9%)少なくなっています。

町内居住

令和6年12月1日で町内に住むひとは2,256人となっており、
町に住むひとの数が毎月増えています。

浪江町内居住者数の推移

■ 新たな住民 ■ 帰還した町民

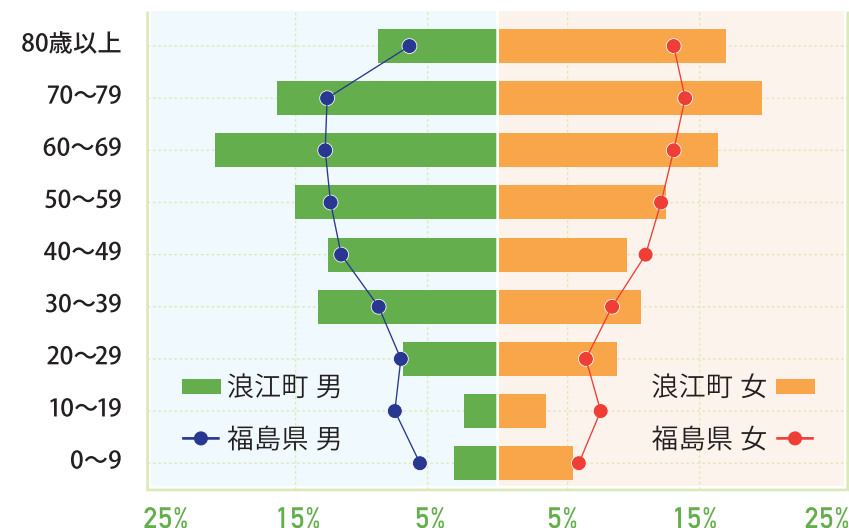


メモ

年齢構成

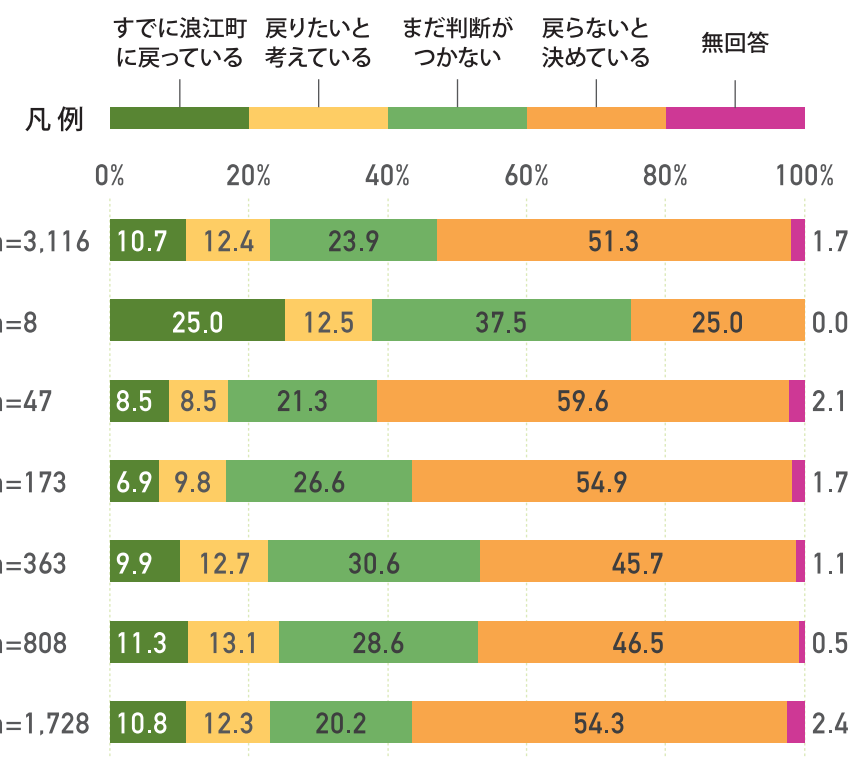
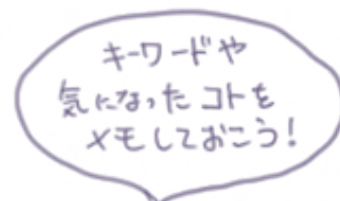
町内の住むひとの年齢構成は、
男性では60歳～69歳、女性では
70歳～79歳が多くなっています
が、男女共に10歳～19歳が少ない
少子高齢化の構造となっています。

浪江町の居住人口と福島県の現住人口の構造の比較(令和6年12月31日時点)



住民意向調査(アンケート)

令和6年での町への帰還意向は、「戻らないと決めている」が最も高く(51.3%)、続いて「まだ判断がつかない」(23.9%)、「戻りたいと考えている」(12.4%)、「すでに浪江町に戻っている」(10.7%)となっています。回答者を年代別にみると、「すでに浪江町に戻っている」ひとがすべての年代で1割程度おり、着実に帰還が進んでいます。



町の復興に向けて



町の復興のための
計画をつくりました。

浪江町復興計画【第三次】は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所事故の被害という未曾有の複合災害により、甚大な被害を受けた本町が復旧・復興を実現していくための道標とするものです。

東日本大震災と 浪江町

- 東日本大震災という大きな地震と津波があって、浪江町はとても大きな被害を受けました。そのあと、町の人たちは安全のために、町の外に避難しなければならなくなりました。

復興のための 計画づくり

- 浪江町は、みんながまた安心して住めるように「復興」という町を元気にするための計画をつくってきました。最初の計画は平成24年に、2回目は平成29年につくりました。

復興の状況

- 少しずつ町に戻れる場所が増えてきましたが、今でも町の8割くらいは「帰るのが難しい場所」になっています。避難が終わった場所でも、いろいろな課題があります。

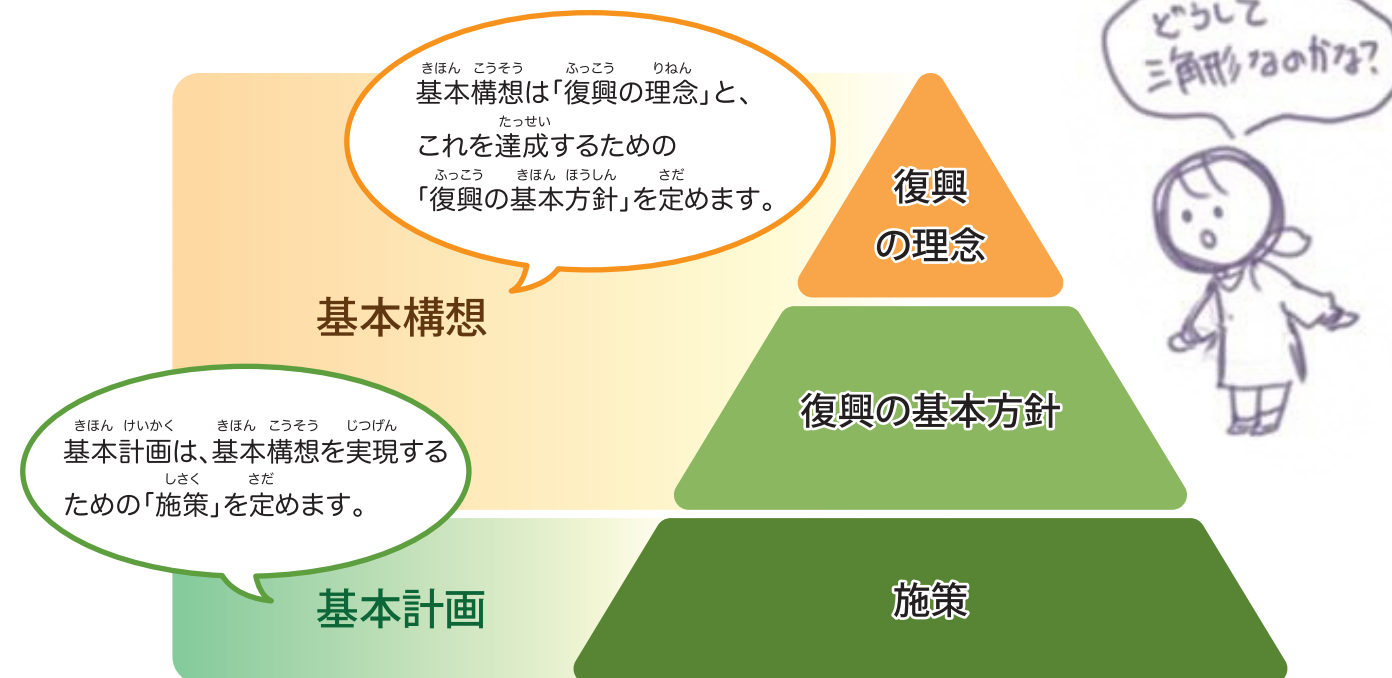
いまの復興計画

- 震災から10年がたって、町の様子も変わってきましたが、これまでの取組をふりかえって、これからもずっと安心して暮らせる浪江町にするために、新しい計画(復興計画【第三次】)をつくりました。



計画の組み立て

この計画は、浪江町の最上位の計画として、「基本構想」と「基本計画」でかたちづけられています。



計画の期間

基本構想：令和3年度から令和12年度までの10年間で。
基本計画：前期と後期に分けて、それぞれ5年間とします。

年 度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
基本構想	基本構想(10年)									
基本計画	前期基本計画(5年)					後期基本計画(5年)				



メモ

まちづくりの内容



復興に向かっていくための“理念”を考えました

基本構想で定めています

夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち
～ なかよく みんな えがおの花咲くまち なみえ ～



復興まちづくりの方向を定めました

基本計画で定めています

復興の理念「夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち」に向かって、
まちづくりを進めるための5つの分野を定めて、具体的な「復興のまちづくり」を進めていきます。

5分野ごとの基本目標

I 夢と希望のある産業と仕事づくり

II 未来を担う人づくり

III 帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり

IV 健康と福祉のまちづくり

V 絆の維持と持続可能なまちづくり



メモ

基本目標 I

夢と希望のある産業と仕事づくり

目指すこと

農山漁村の風景を再生するとともに、「福島イノベーション・コースト構想（イノベ構想）」と連携しながら、新たな産業と雇用の創出、商工業の振興や観光交流を進めて、活気とにぎわいのあるまちを目指します。

取組内容



施策1 農林水産業の再興

- (1) 農業の再開
- (2) 林業の再開・漁業の再開
- (3) 魅力のある地場産品づくりと販売力の強化
- (4) 鳥獣被害対策

画像待ち

仮サイズ:68*50mm

施策2 新たな産業と雇用の創出

- (1) 商工業の振興
- (2) 企業誘致の推進
- (3) 就労支援・人材育成
- (4) 観光・交流の推進

画像待ち

仮サイズ:68*50mm



メモ

目指すこと

出産・子育て支援の充実や、豊かな学びの環境づくり、芸術や文化に触れあえる機会の創出や、スポーツに親しめる環境づくり、被災の記憶と教訓を次の世代や世界に向けて発信します。

取組内容

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

施策1 子育て環境・学校教育の充実

(1) 子育て環境の充実

(2) 学校教育の充実

施策2 生涯学習環境の充実

(1) 生涯学習環境の充実

(2) 文化財保護・伝統芸能の継承

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

施策3

震災の記憶の伝承



目指すこと

帰還困難区域全域の避難指示解除を目指します。

上下水道や道路などのインフラ整備を推進するとともに、中心市街地整備を推進し、快適で利便性の高いまちを目指します。原子力に依存せず二酸化炭素排出量実質ゼロの環境にやさしいまちを目指します。

取組内容



画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策1

帰還困難区域・特定復興再生拠点区域

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策2 社会基盤の維持・整備

(1) 浪江駅周辺を核とした中心市街地整備

(2) 上下水道の整備 (3) 交通網の充実

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策3 防災・安全の強化

(1) 防災・安全の強化

(2) 防犯・防火・交通安全の強化

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策4 ゼロカーボンシティの推進



メモ



メモ

目指すこと

総合的な保険サービスの提供や、地域医療体制の充実、介護・福祉サービスの充実、放射線による健康上の不安解消に努めることにより、安心して暮らせるまちを目指します。

取組内容

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

施策1

健康づくりの推進・医療の充実

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

施策2 介護・福祉の充実

画像待ち

仮サイズ:68*38mm

施策3

放射線による健康不安への対策

(1)放射線による健康不安への対策

(2)除染等の推進による安全対策



メモ

目指すこと

復興の様子等の情報発信に努めることにより、町民との絆を大切にするまちを目指します。移住・定住の取組を推進し、町内の居住人口が増加していくまち、住んでみたいまちを目指します。行政区等コミュニティ団体の活動の活性化を図り、町民が主役となるまちを目指します。効率的な行政運営と財源の確保に取り組むことにより、本計画を着実に前進させ、持続可能なまちを目指します。

取組内容

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策1 被災者生活支援・絆の維持

(1)被災者生活支援

(2)絆の維持

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策2 移住・定住の推進

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策3 地域コミュニティ活動の推進

画像待ち

仮サイズ:68*28mm

施策4 復興を推進させる行財政運営

